

II 調査結果

II-1 喫煙の状況

1 喫煙経験

喫煙経験率は、中学1年生の男子1.1%、女子1.1%、高校1年生の男子2.2%、女子1.3%であった。

前回調査時（H28年度）と比較すると、中学1年生女子の喫煙経験率が0.2ポイント増加しているが、それ以外では減少している。（図1）

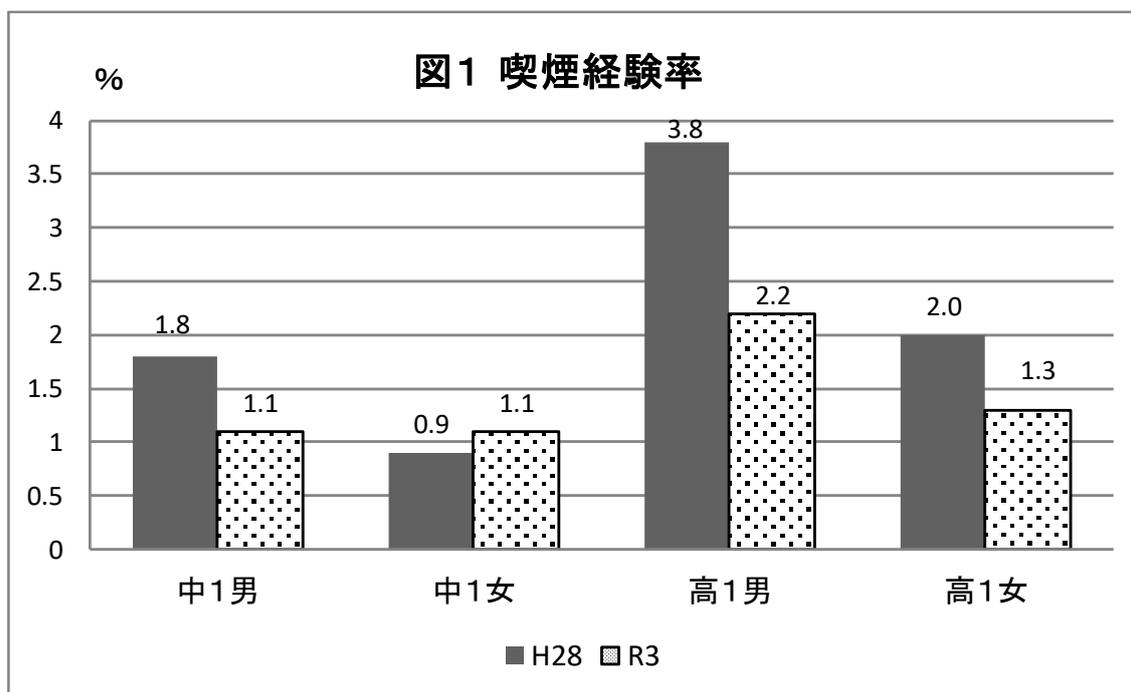


表1 喫煙経験の状況

区分	喫煙経験なし		喫煙経験あり		無回答		合計		
	人	%	人	%	人	%	人	%	
中1	男	2,393	97.2	28	1.1	42	1.7	2,463	100.0
	女	2,502	97.6	28	1.1	33	1.3	2,563	100.0
高1	男	2,454	97.1	55	2.2	19	0.8	2,528	100.0
	女	2,447	97.8	32	1.3	22	0.9	2,501	100.0

2 初めての喫煙経験学年

初めての喫煙経験学年は、いずれの区分も無回答を除くと、中学1年生は男女とも「小学4年以下」と回答した者が多く、高校1年生の男子は「小学4年以下」、女子は「中学3年生」「時期は忘れた」と回答者が多かった。

(図2)(図3)

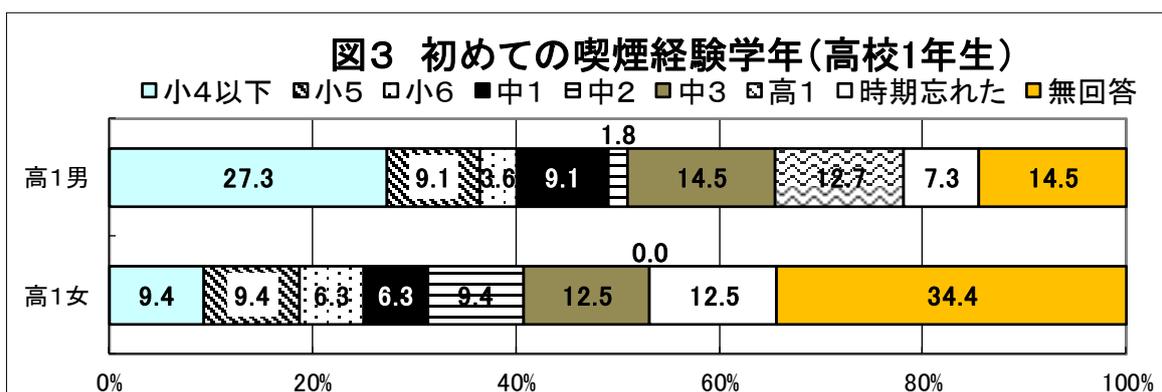
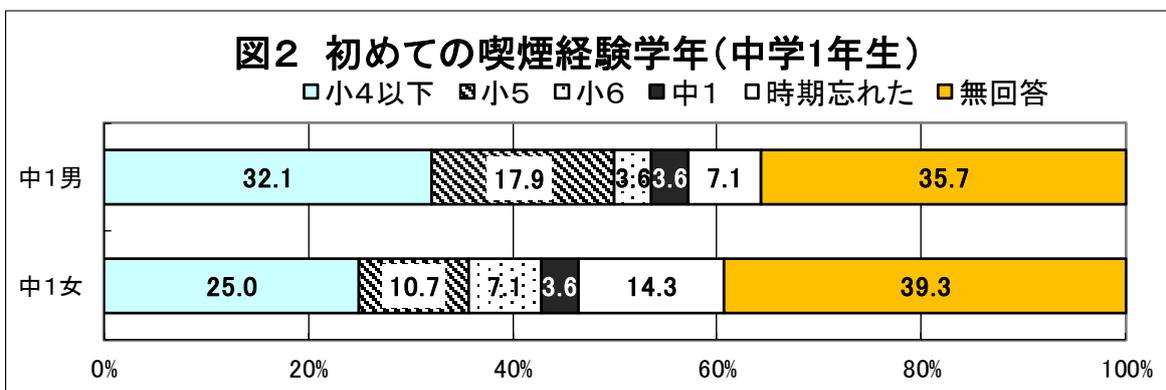


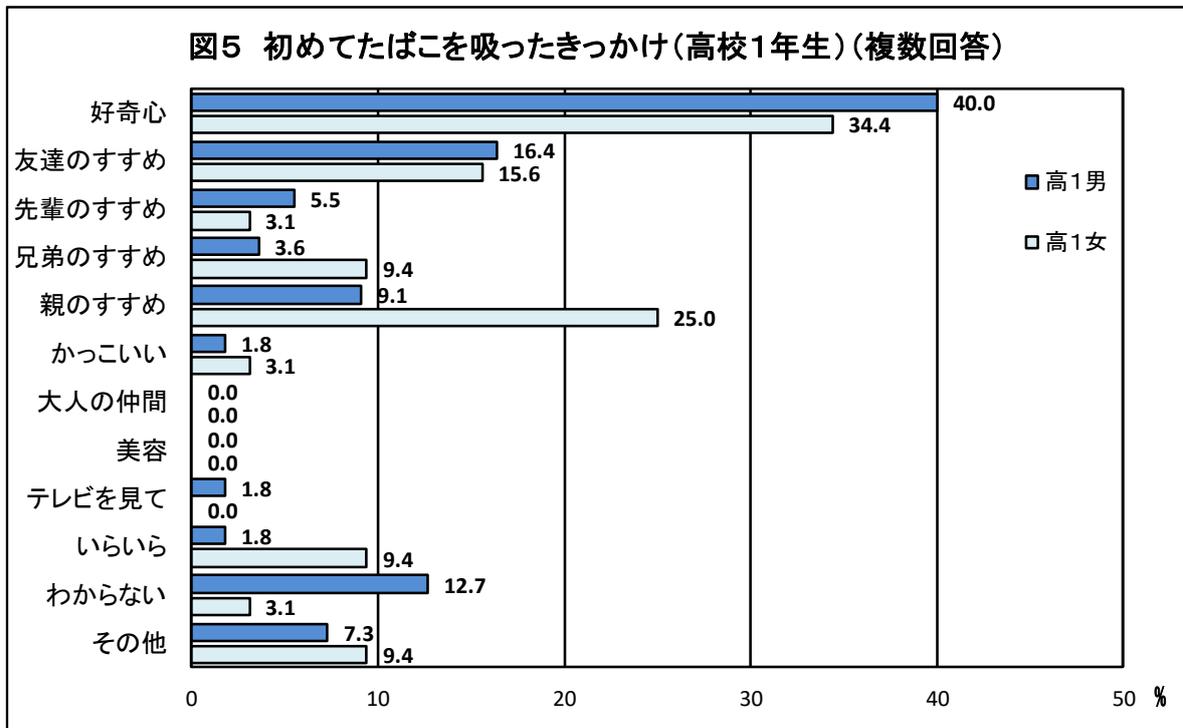
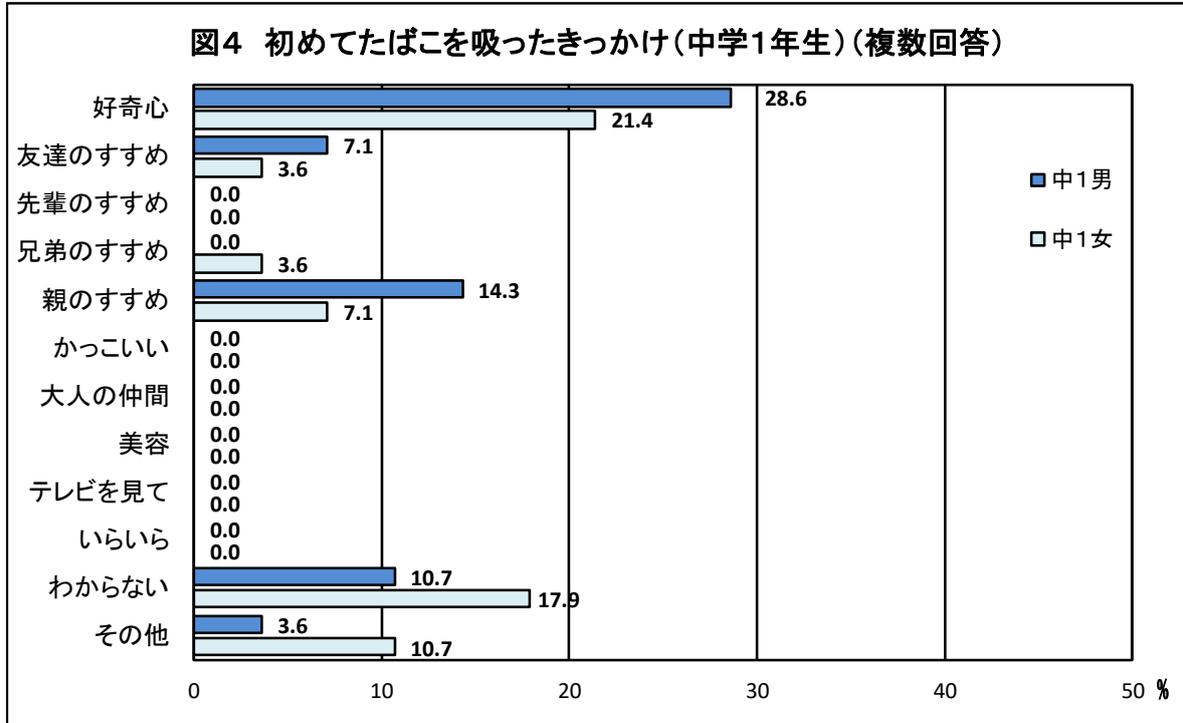
表2 喫煙経験者の初めて喫煙した学年

区分		小4以下	小5	小6	中1	中2	中3	高1	時期忘れた	無回答	合計	
中1	男	人	9	5	1	-	-	-	2	10	28	
		%	32.1	17.9	3.6	3.6	-	-	-	7.1	35.7	100.0
	女	人	7	3	2	1	-	-	-	4	11	28
		%	25.0	10.7	7.1	3.6	-	-	-	14.3	39.3	100.0
高1	男	人	15	5	2	5	1	8	7	4	8	55
		%	27.3	9.1	3.6	9.1	1.8	14.5	12.7	7.3	14.5	100.0
	女	人	3	3	2	2	3	4	0	4	11	32
		%	9.4	9.4	6.3	6.3	9.4	12.5	0.0	12.5	34.4	100.0

3 初めてたばこを吸ったきっかけ

喫煙経験者が初めてたばこを吸ったきっかけは、中学1年生では、男女とも「好奇心」が最も多い。(図4)

また高校1年生でも、男女とも「好奇心」が最も多い。(図5)



4 現在の喫煙状況

現在喫煙していると回答した者の割合は、中学1年生の男子0.0%、女子0.1%、高校1年生の男子0.3%、女子0.1%で、前回調査時（H28年度）と比較すると、中学校1年生の女子以外は減少している。（図6）

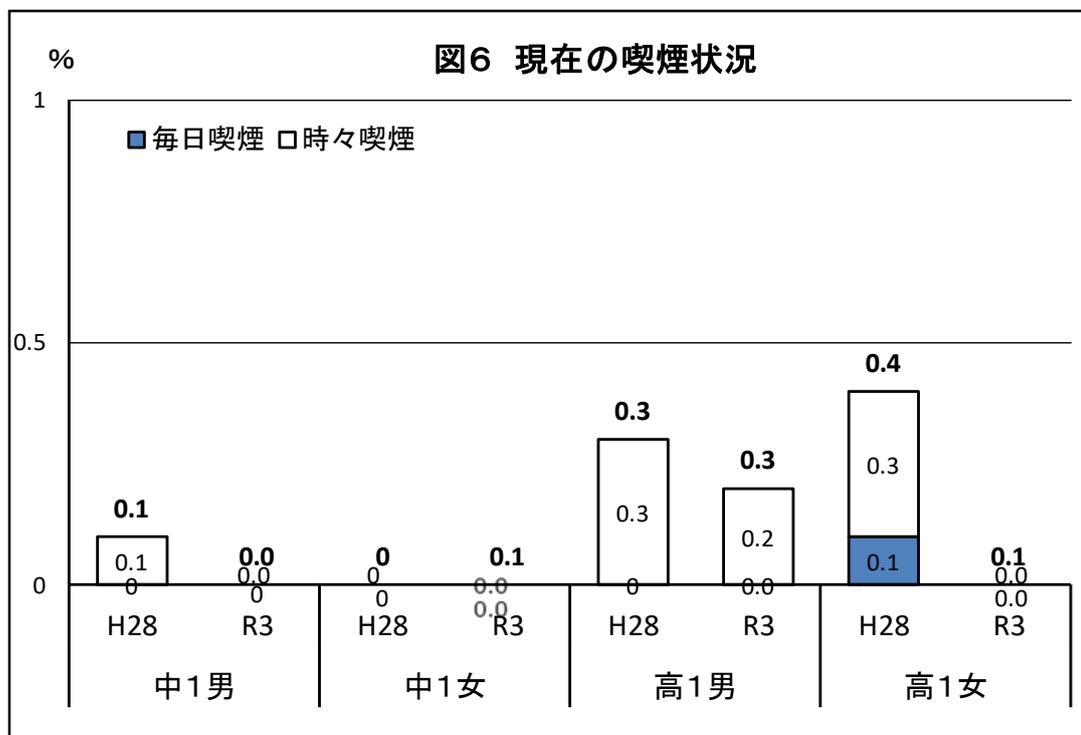


表3 現在の喫煙状況

区分		①喫煙経験なし	喫煙経験者				⑥無回答	合計	現在喫煙 ②+③	
			②毎日喫煙	③時々喫煙	④全く吸わない	⑤無回答				
中1	男	人	2,393	0	1	19	8	42	2,463	1
		%	97.2	0	0.0	0.8	0.3	1.7	100.0	0.0
	女	人	2,502	1	1	15	11	33	2,563	2
		%	97.6	0.0	0.0	0.6	0.4	1.3	100.0	0.1
高1	男	人	2,454	1	6	41	7	19	2,528	7
		%	97.1	0.0	0.2	1.6	0.3	0.8	100.0	0.3
	女	人	2,447	1	1	20	10	22	2,501	2
		%	97.8	0.0	0.0	0.8	0.4	0.9	100.0	0.1
合計		人	9,796	3	9	95	36	116	10,055	12
		%	97.4	0.0	0.1	0.9	0.4	1.2	100.0	0.1

5 現在喫煙者の喫煙本数

現在喫煙者のうち、「毎日喫煙」と回答した者は、中学1年生の女子が1人、高校1年生では男女とも1人であり、うち喫煙本数の回答を得られた高校1年生女子1人の1日平均喫煙本数は、「1-4本」であった。(表4)

表4 毎日喫煙する者の1日平均喫煙本数の状況

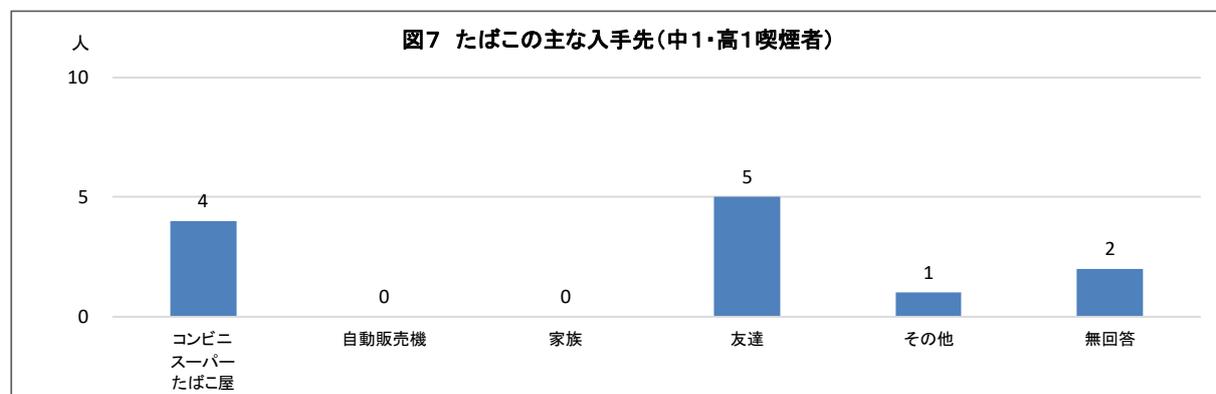
区分		1-4本	5-9本	10-14本	15-19本	20本以上	無回答	合計	
中 1	男	人	0	0	0	0	0	0	
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
	女	人	0	0	0	0	0	1	1
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
高 1	男	人	0	0	0	0	0	1	1
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	女	人	1	0	0	0	0	0	1
		%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0

表5 時々喫煙する者の週平均喫煙本数の状況

区分		1-4本	5-9本	10-14本	15-19本	20本以上	無回答	合計	
中 1	男	人	0	0	0	0	1	1	
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0
	女	人	1	0	0	0	0	0	1
		%	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0
高 1	男	人	2	1	0	0	0	3	6
		%	33.3	16.7	0.0	0.0	0.0	50.0	100.0
	女	人	0	0	0	0	0	1	1
		%	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	100.0

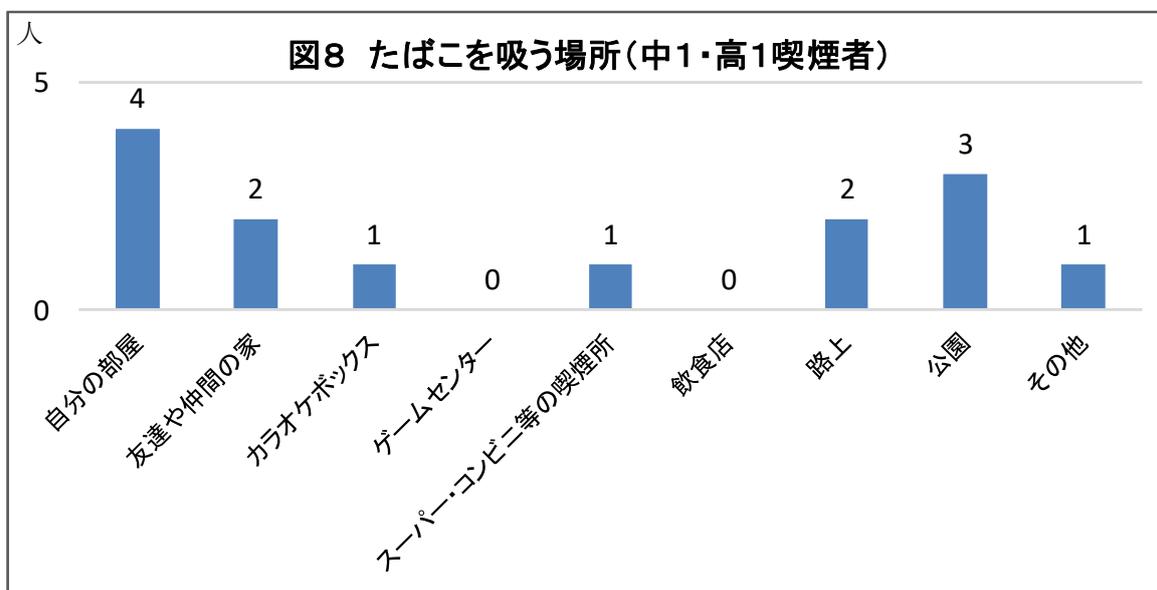
6 主なたばこの入手先

現在喫煙者（全学年・男女）の主なたばこの入手先は、「友達から」と回答した者が5人、「コンビニやスーパー、たばこ屋」と回答した者が4人であった。(図7)



7 たばこを吸う場所（複数回答）

現在喫煙者（全学年・男女）がたばこを吸う場所は、「自分の部屋」が4人、「公園」が3人であった。



8 周囲の者の喫煙状況

喫煙している家族は「父」が34.8～37.7%、「母」が11.1～12.7%、「兄弟姉妹」が1.6～4.2%、「祖父母」が11.0～15.4%であった。

「友だち」が喫煙していると回答した者の割合は、中学1年生の男子0.5%、女子0.7%、高校1年生の男子3.9%、女子4.4%であった。（図9）

前回調査（平成28年度）と比較すると、喫煙している家族は高校1年生の男子の「父親」、中学1年生の女子、高校1年生の男子の「祖父母」で割合が増加したが、これら以外の家族は減少している。また、友だちが喫煙していると回答した者の割合は、全学年・男女で減少している。（図10 - ①～⑤）

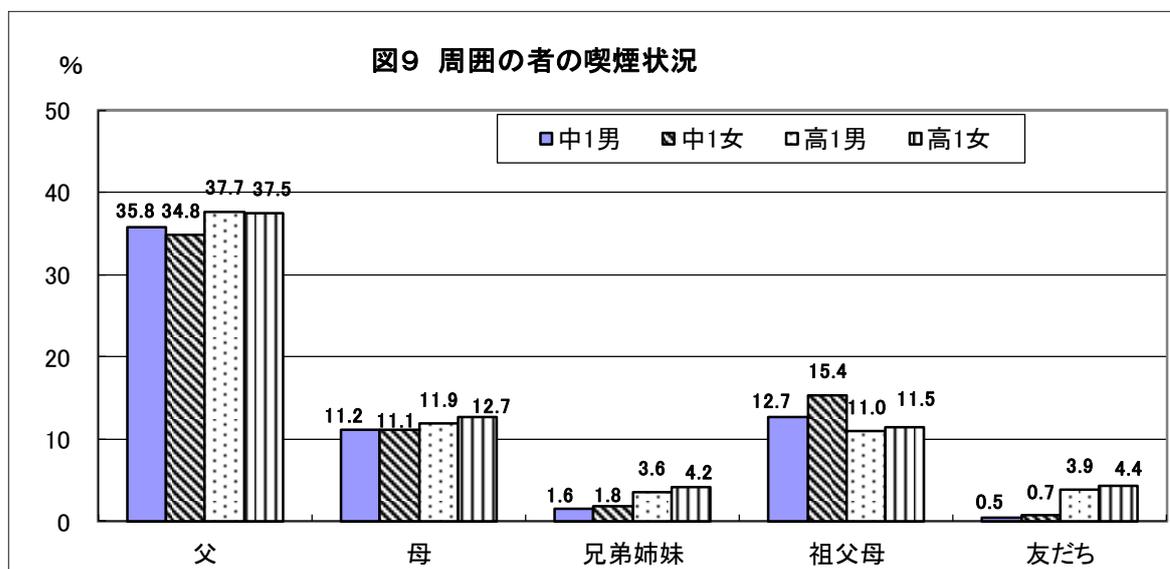


図10-① 周囲の者の喫煙状況(父親)

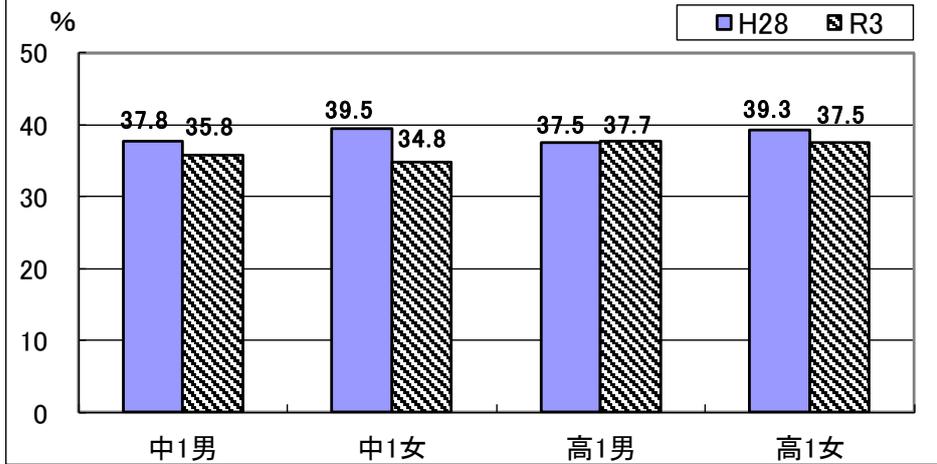


図10-② 周囲の者の喫煙状況(母親)

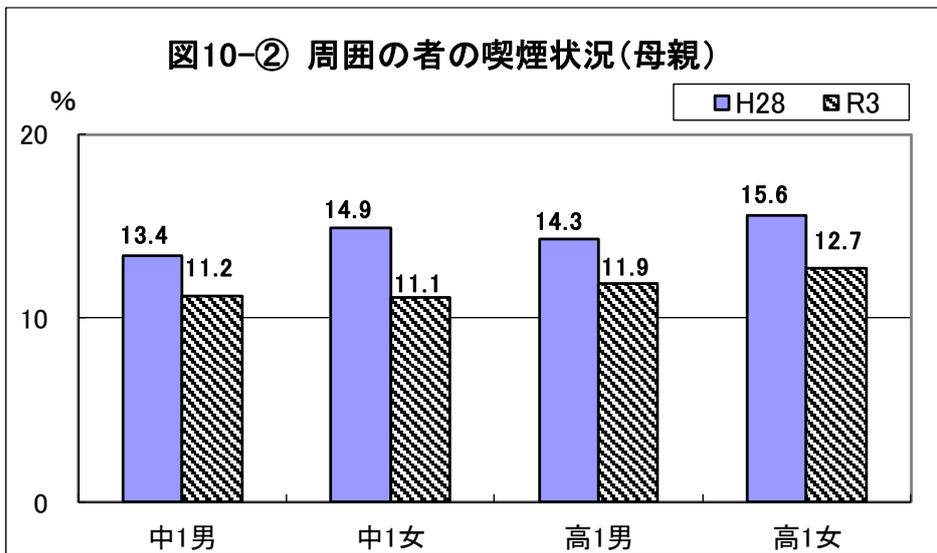


図10-③ 周囲の者の喫煙状況(兄弟姉妹)

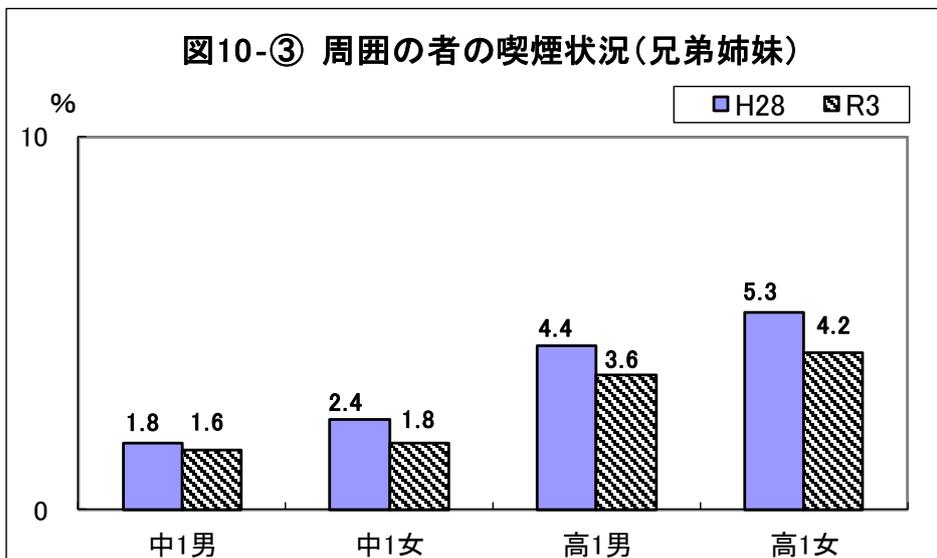


図10-④ 周囲の者の喫煙状況(祖父母)

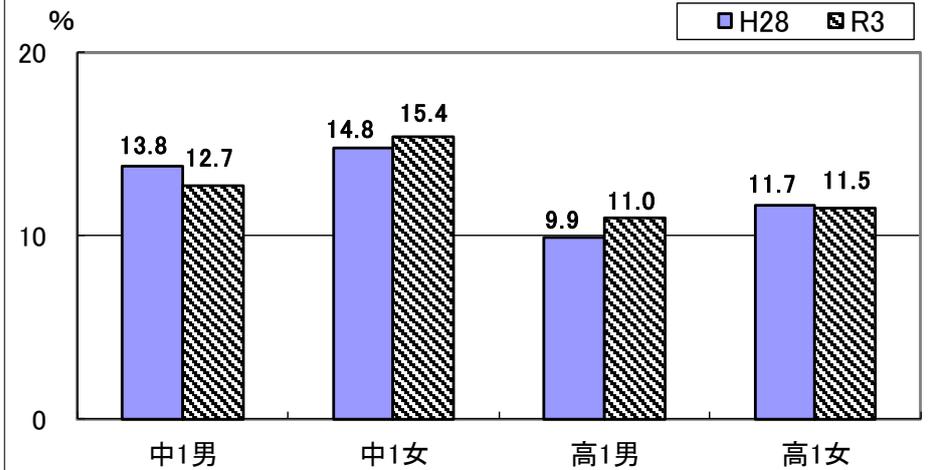
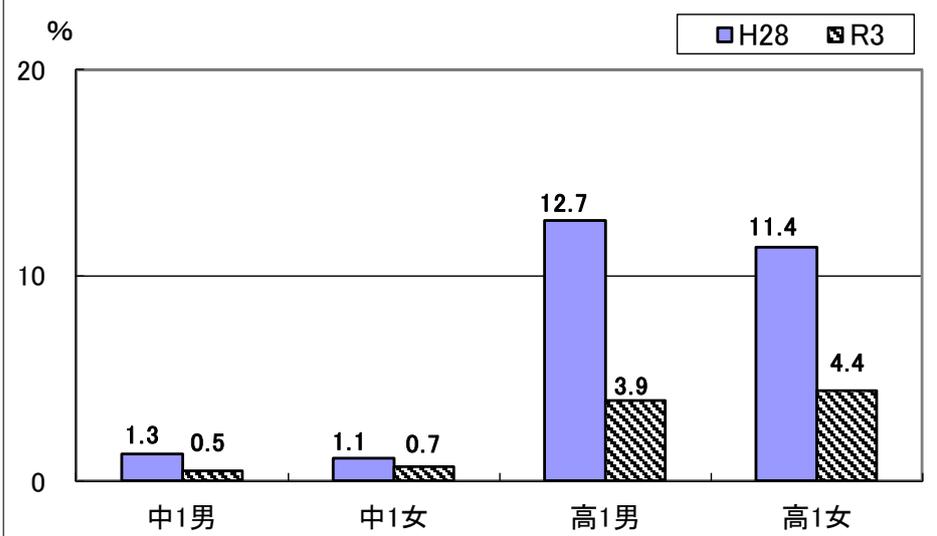


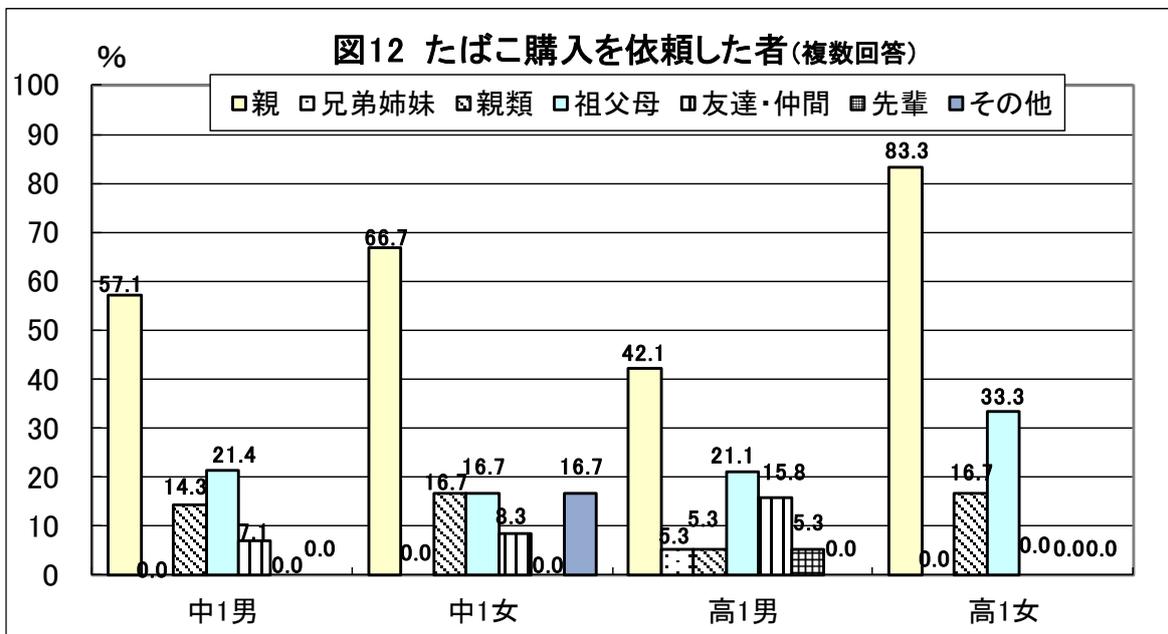
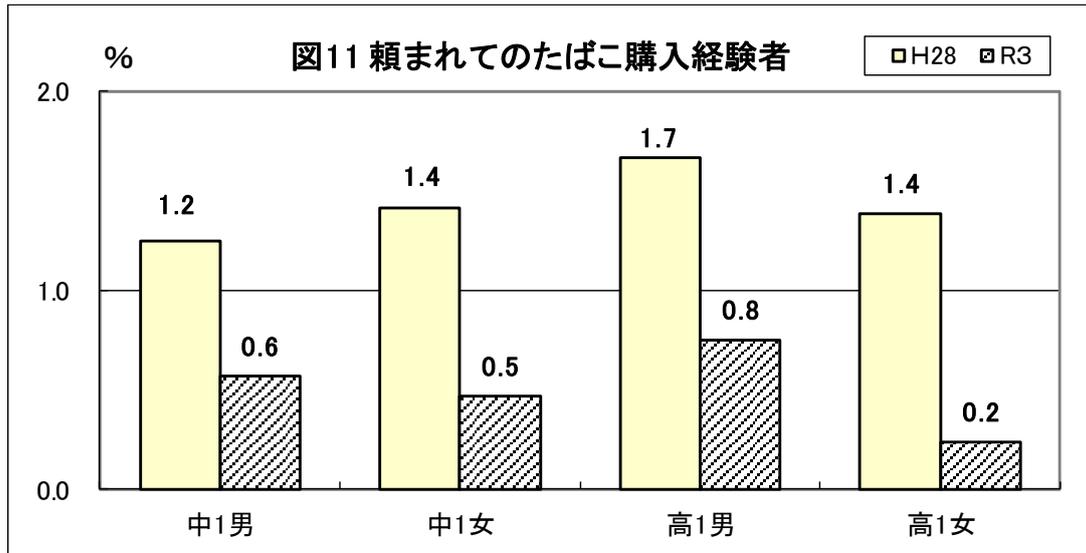
図10-⑤ 周囲の者の喫煙状況(友だち)



9 頼まれてのたばこの購入

「頼まれてたばこの購入をしたことがある」と回答した者の割合は、中学1年生の男子0.6%、女子0.5%、高校1年生の男子0.8%、女子0.2%であった。

前回調査（平成28年度）と比較すると、全ての学年・男女で減少している。（図11）
購入の経験がある者がたばこの購入を依頼されたのは、全ての学年・男女で、「親」が最も多い。（複数回答）（図12）



10 たばこを売ってもらえなかった経験

調査の前30日間に年齢のために、たばこを売ってもらえなかった経験を持っている者の割合は、「ときどき」と「いつでも」を合わせて、全体で7.0%であった。

また、「いつでも売ってもらえた」と回答した者は、全体で0.3%であった。（表6）

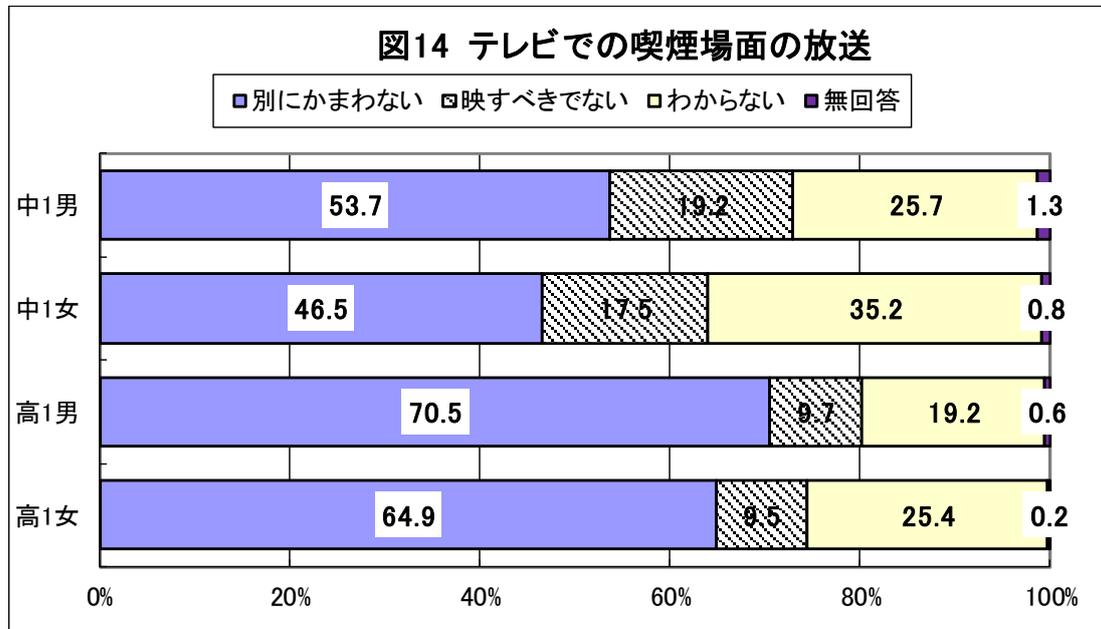
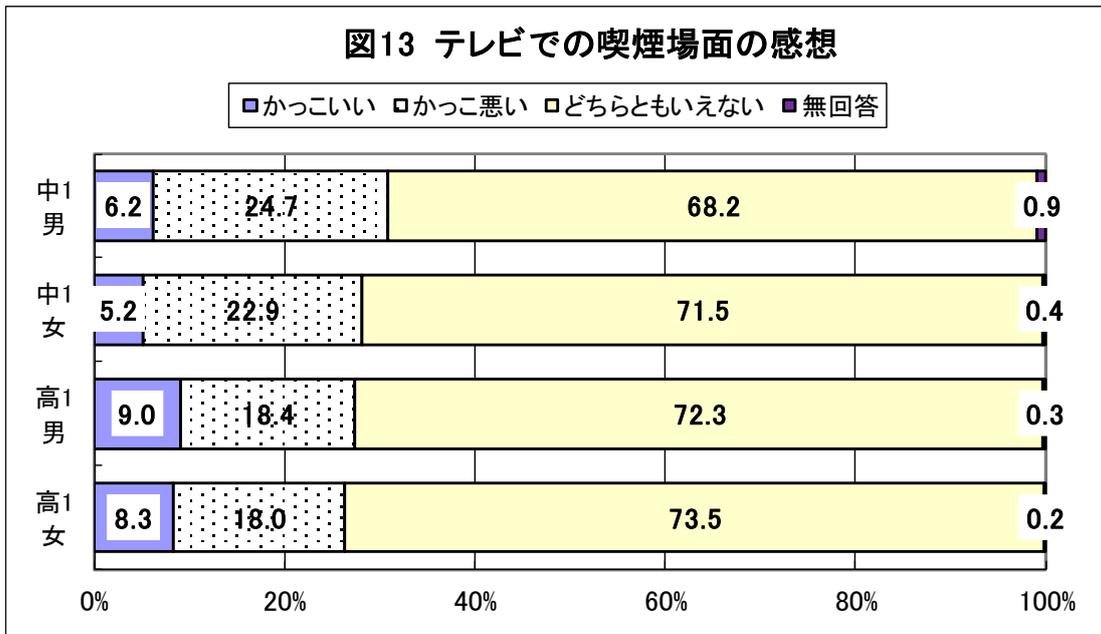
表6 たばこを売ってもらえなかった経験の状況

区分		買おうとしなかった	いつでも売ってもらえた	ときどき売ってもらえなかった	いつでも売ってもらえなかった	無回答	合計	
中 1	男	人	1,833	7	5	135	483	2,463
		%	74.4	0.3	0.2	5.5	19.6	100.0
	女	人	2,035	7	1	104	416	2,563
		%	79.4	0.3	0.0	4.1	16.2	100.0
高 1	男	人	1,849	8	5	259	407	2,528
		%	73.1	0.3	0.2	10.2	16.1	100.0
	女	人	2,022	6	0	199	274	2,501
		%	80.8	0.2	0	8.0	11.0	100.0
合計	人	7,739	28	11	697	1,580	10,055	
	%	77.0	0.3	0.1	6.9	15.7	100.0	

11 テレビでの喫煙場面について

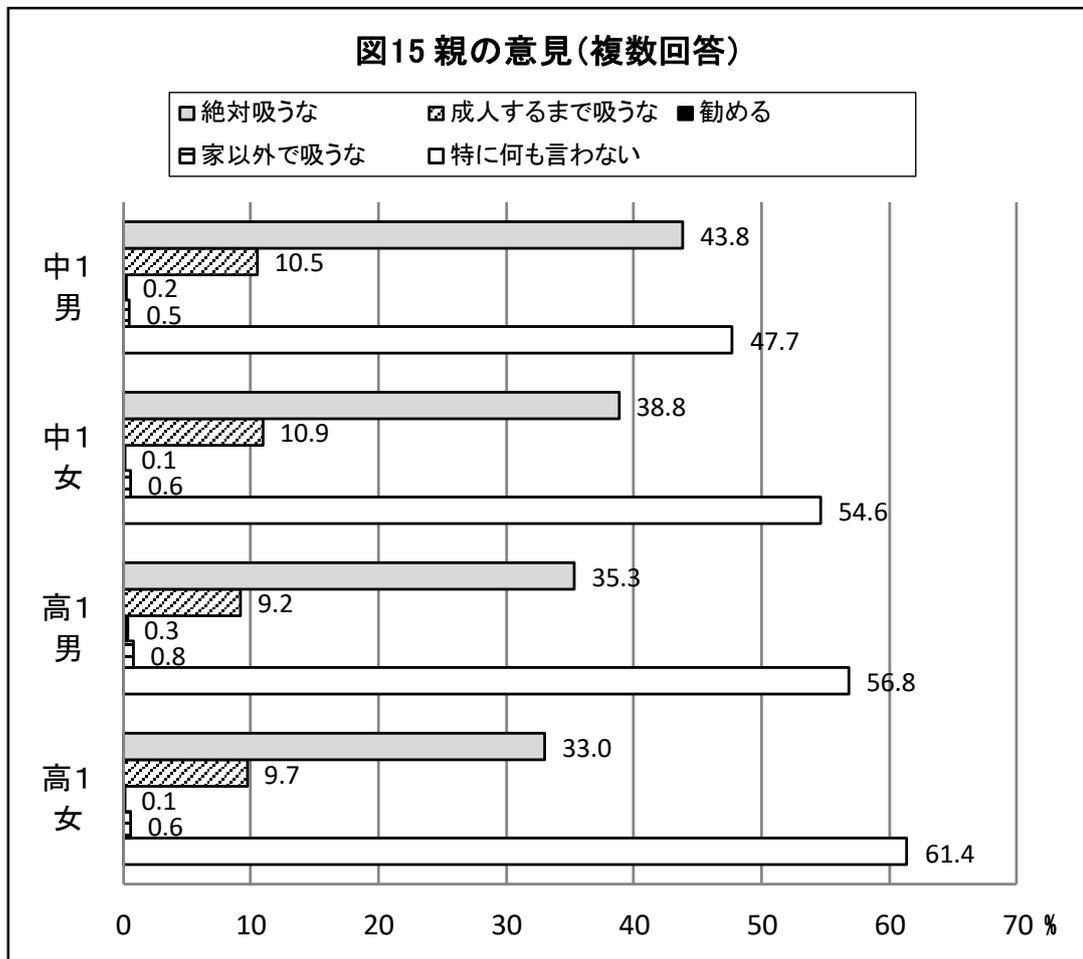
テレビでの喫煙場面を「かっこいい」と思う者の割合は、中学1年生の男子6.2%、女子5.2%、高校1年生の男子9.0%、女子8.3%であった。(図13)

また、テレビでたばこを吸うシーンを映すことを「かまわない」と回答した者の割合は、中学1年生の男子53.7%、女子46.5%、高校1年生の男子70.5%、女子64.9%であった。(図14)



12 たばこについての親の意見

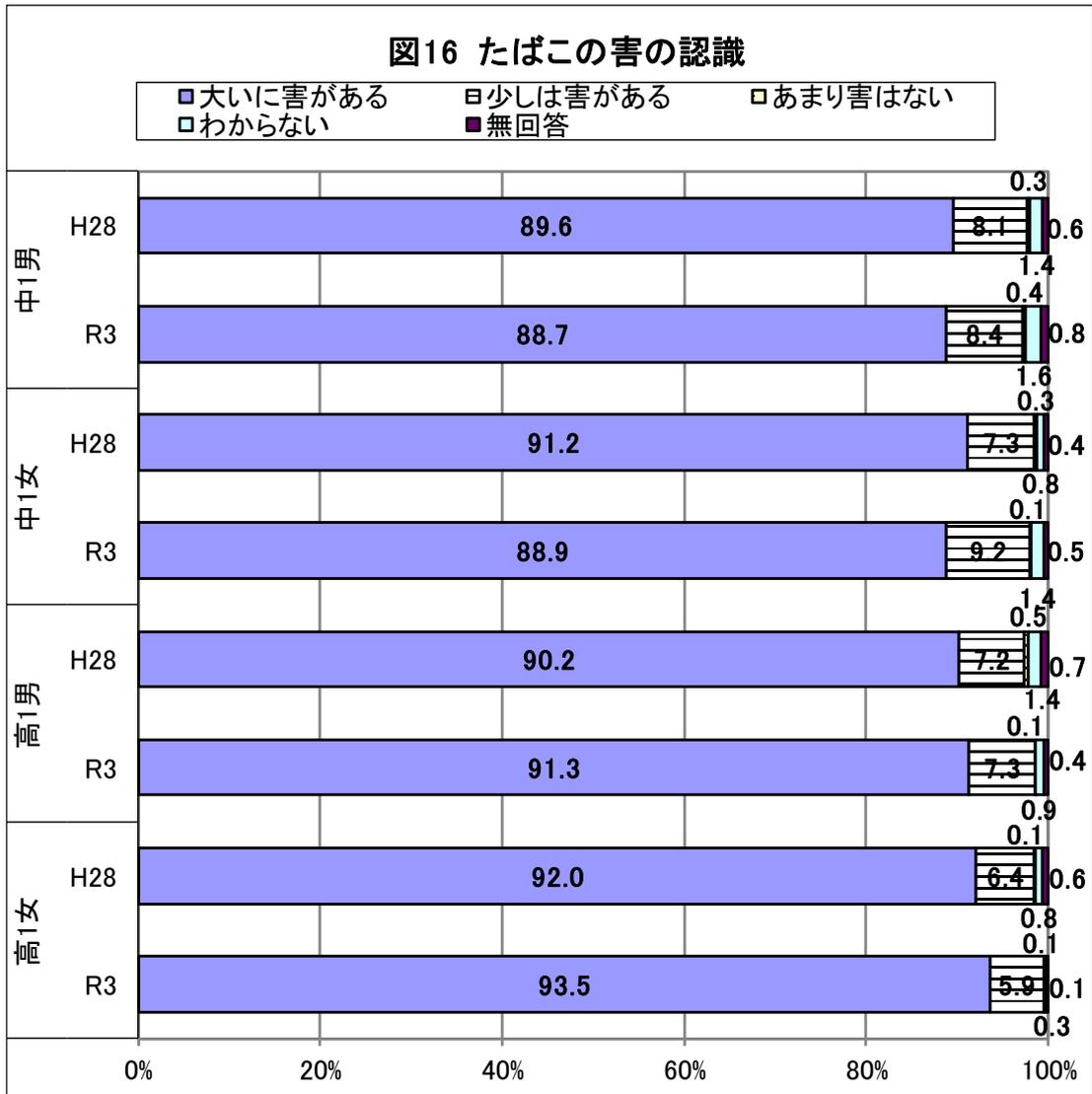
たばこについての親の意見は、全ての学年・男女で「特に何も言わない」が最も多く、次いで「絶対吸うな」が多くなっている。(図15)



13 たばこの害の認識

たばこを吸うと身体に「大いに害がある」と「少しは害がある」と回答した者の割合は、中学1年生の男子97.2%、女子98.1%、高校1年生の男子98.6%、女子99.4%であった。

前回調査（平成28年度）と比べると、中学1年生の男女で「大いに害がある」と回答した者の割合が減少している。（図16）

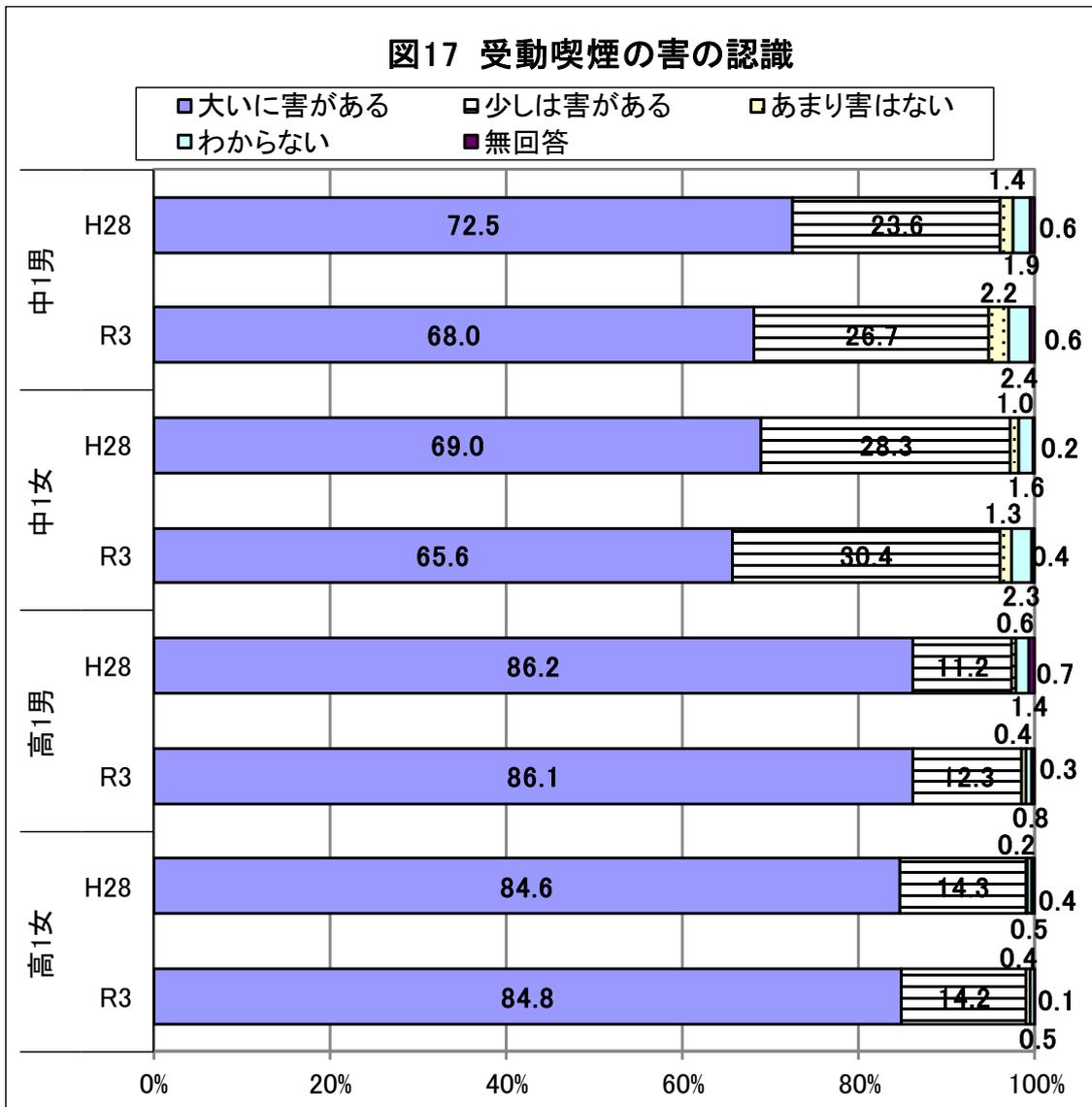


14 受動喫煙の害の認識

人が吸っているたばこの煙を吸うと身体に「大いに害がある」と「少しは害がある」と回答した者の割合は、中学1年生の男子 94.7%、女子 96.0%、高校1年生の男子 98.5%、女子 99.0%であった。

中学1年生に比べて高校1年生は受動喫煙を「大いに害がある」と回答する者の割合が多い。

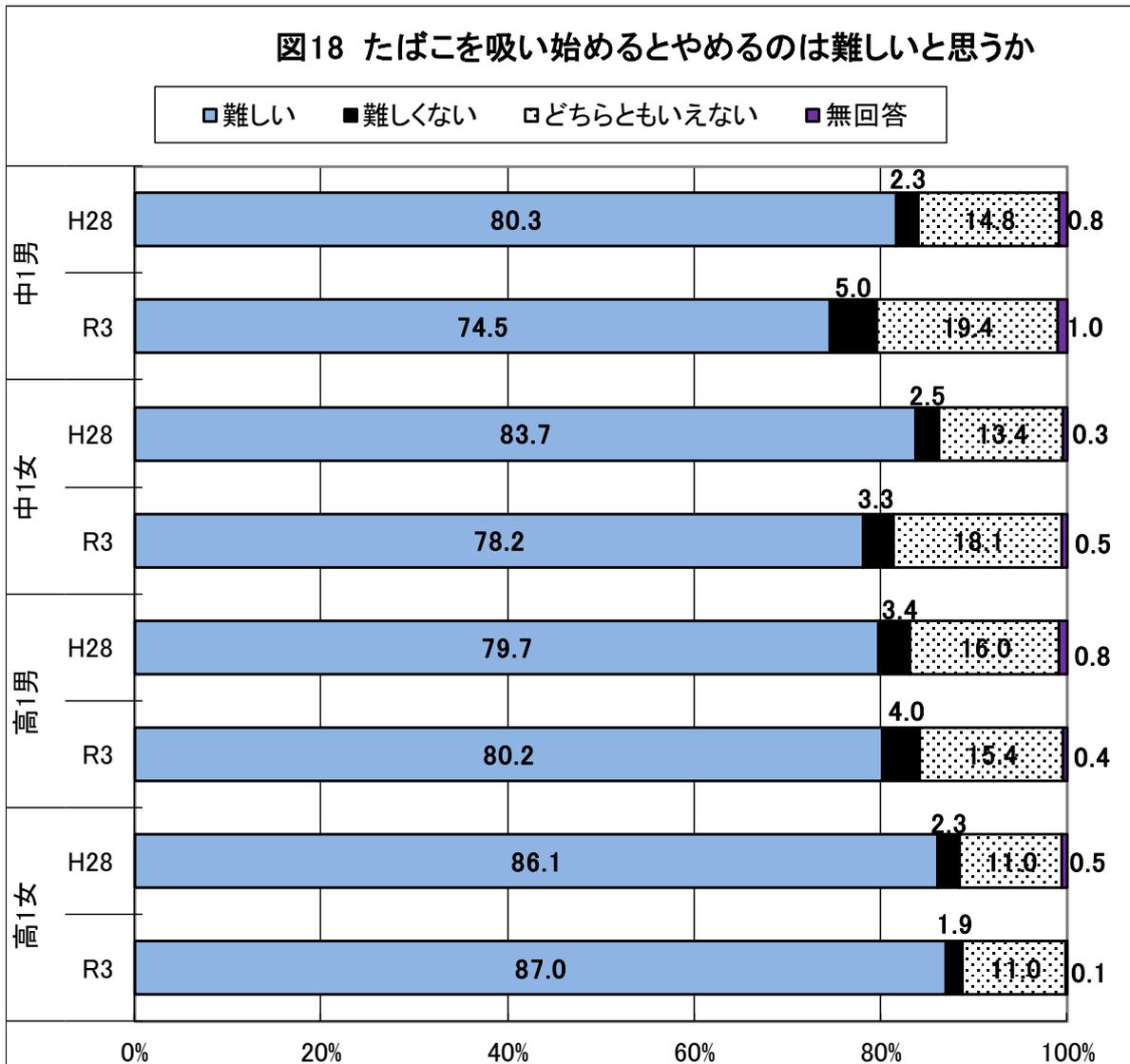
前回調査（平成28年度）と比べると高校1年生の女子以外では、「大いに害がある」と回答した者の割合が減少している。（図17）



15 たばこの依存性の認識

たばこを吸い始めるとやめるのは「難しい」と回答した者の割合は、中学1年男子74.5%、女子78.2%、高校1年男子80.2%、女子87.0%であった。

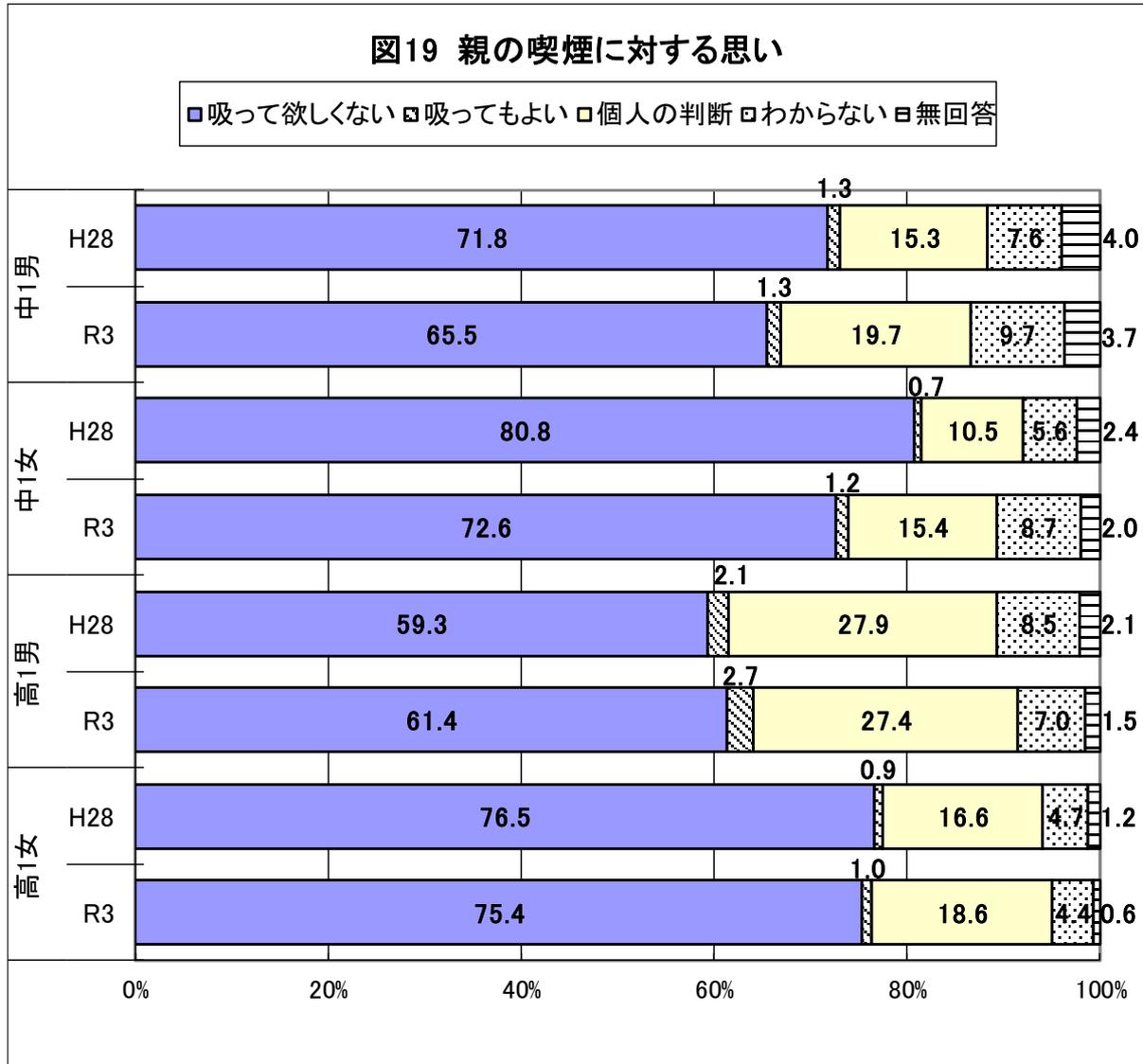
前回調査（平成28年度）と比べると、中学1年生の男女で「難しい」と回答した者の割合が減少している。（図18）



16 親の喫煙に対する思い

「吸って欲しくない」と回答した者の割合は、中学1年生の男子65.5%、女子72.6%、高校1年生の男子61.4%、女子75.4%であった。

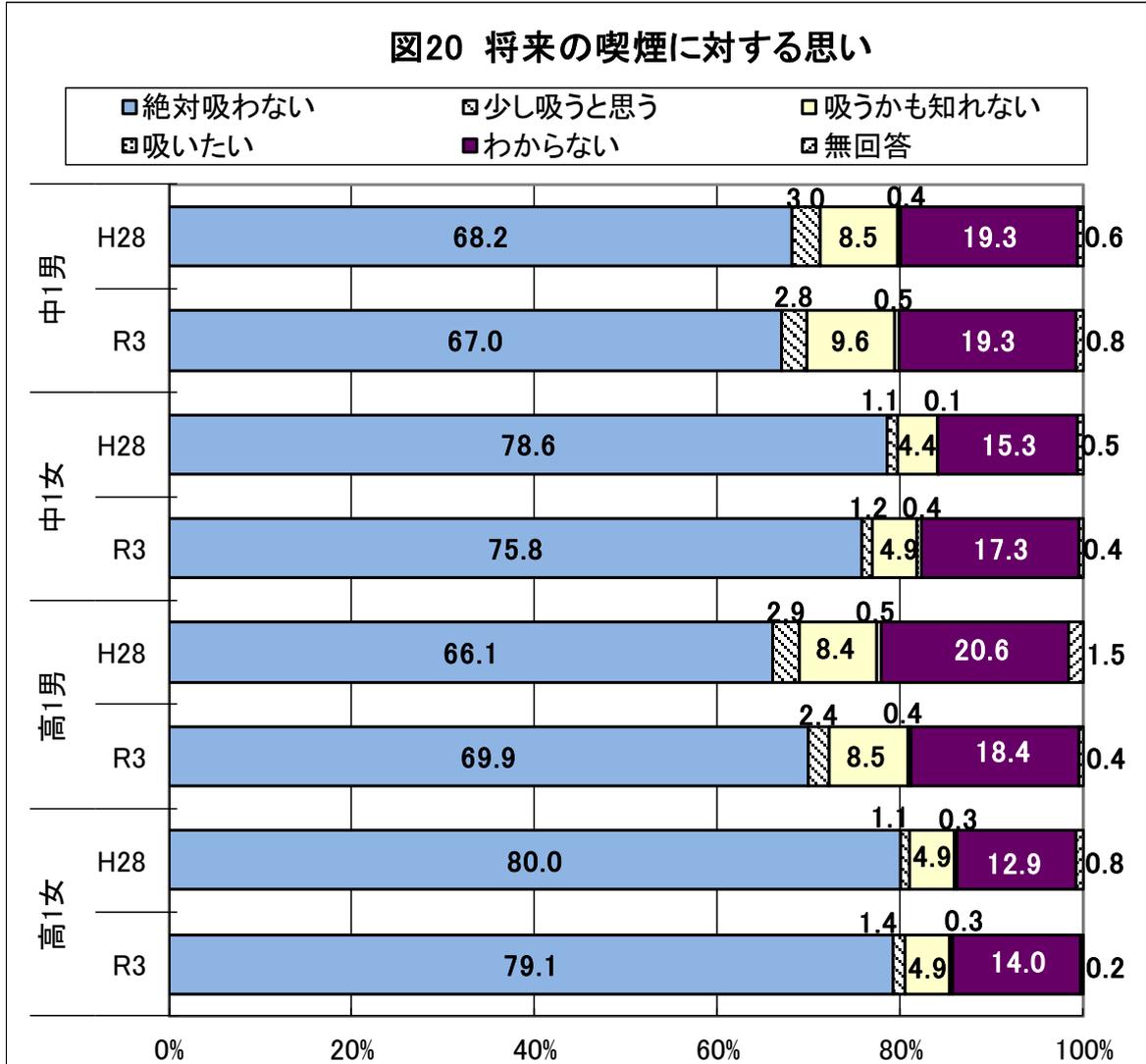
前回調査時（平成28年度）と比較して、「吸って欲しくない」と回答した者の割合は高校1年生の男子以外で減少している。（図19）



17 将来の喫煙に対する思い

将来の喫煙について「絶対吸わない」と回答した者の割合は、中学1年生の男子67.0%、女子75.8%、高校1年生の男子69.9%、女子79.1%であった。

前回調査時（平成28年度）と比較して、「絶対吸わない」と回答した者の割合は、高校1年生の男子以外で減少している。（図20）



18 喫煙防止教育を受けた時期（複数回答）

「たばこについての授業」を受けた時期は中学1年生の70%以上は小学校高学年で、高校1年生は小学校高学年で50%以上、中学校で70%以上受けたと回答している。

(図 21)

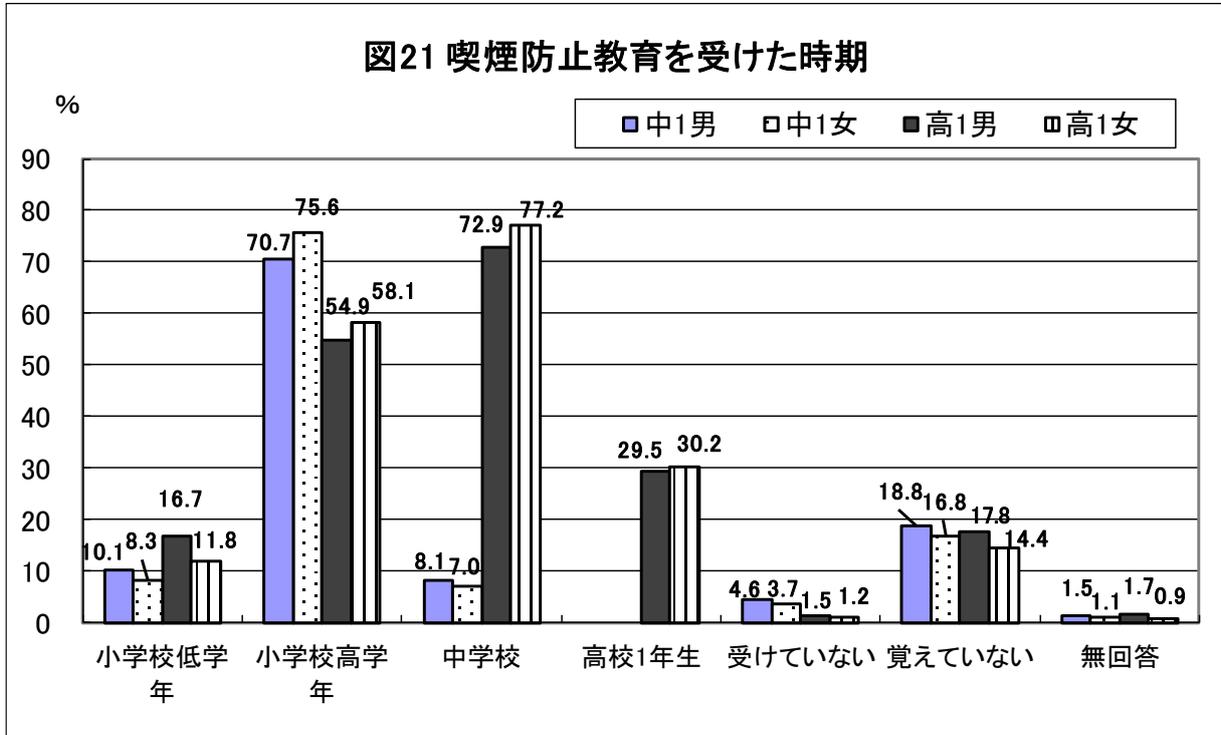


表7 喫煙防止教育を受けた時期の状況

		小学校 低学年	小学校 高学年	中学校	高校1年	受けて いない	受けたかどうか 覚えていない	全体 (回答者数)	
中 1	男	人	249	1,741	200	-	113	462	2,463
		%	10.1	70.7	8.1	-	4.6	18.8	
	女	人	212	1,938	180	-	94	431	2,563
		%	8.3	75.6	7.0	-	3.7	16.8	
高 1	男	人	423	1,388	1,842	746	37	450	2,528
		%	16.7	54.9	72.9	29.5	1.5	17.8	
	女	人	296	1,454	1,930	755	30	360	2,501
		%	11.8	58.1	77.2	30.2	1.2	14.4	